

令和3年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属	地域	年齢	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設から本設への移行など、ハード面では改善が図られている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸復興道路が全線開通まであと一歩という状況になったから。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・発災から10年が経過。高台への移転新築、災害公営住宅等への入居が決まり、住環境は回復したと感じる。 ・高齢者中心に交通面、コミュニティのサポートを継続してほしい。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・住宅新築需要は一段落した。 ・6か月前と状況は変わっていないと感じている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	居住施設の再建や道路等のインフラ整備も概ね完了しており、住環境という点では回復したものと感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・震災による住居の復旧に関しては概ね完了している。 ・台風被害についても災害公営住宅の整備が進み、住環境面での再建はなされてきている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	被災によるものは一掃されており、生活の回復は図られている。又は、移住や転居等、生活の変化で対応しており、問題は見られない。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災復興に伴い、生活面はほとんど回復したと思うが、新型コロナの影響が目に見えない形で進行しているように思う。ワクチン接種が進めば状況は好転すると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・防集による集団移転は完了しているし、仮設住宅は撤去され、それぞれが住む場所を確保しているから。 ・震災復興事業はあらかじめ終わりで、外部から来ていた労働者がかなり少なくなったように思う。それに加えて、コロナ禍による影響が雇用面にもでているように見受けられる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	震災が原因で生活が大変だという様な話は聞かなくなった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	家を再建されたりして落ち着いて来たと思うし、それぞれ、仕事もしてる様なので。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	生活の回復は、一部除き進んでいると思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	うちの周辺の皆さん(自分も含め)は「あたりまえ」に食べて寝てるようなので、回復したんだと思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災で家屋が被災された方々の9割以上、それぞれ新家屋を住まれた。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災より10年が過ぎ、周囲では、やっと落ち着いて来て、このままの状態が続くような心配である。と云うことは、これ以上進むことはないようにみられる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	回復したと答えましたが、医療費の免除が無くなり、病気療養をしている世帯にとって、住宅は建てたものの、借金の返済と医療費の負担は家計に重くのしかかっているようです。医療費免除は本当にありがたかったと皆話しております。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・10年の経過が、初めの目的に達せずとも、それなりに落ちついてきた。(自宅再建→復興住宅) ・いつまでも若い訳ではないと自覚した。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・公園の整備がようやく完了し、子供達の声が聞こえるようになった。 ・震災から10年、被災者も復興工事に携わった多くの方々に頭が下がる。 ・震災10年目にコロナ禍が重なってしまい、行事やイベントが開催中に？自粛になっているのも懸念される。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・現在住んでいる山田町中心部の長崎地内、転居住宅建設のラッシュを過ぎ、今は閑散となった。 ・思い出したように、ポツリポツリと住宅建設がおこなわれているが、不景気感がある。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	10年過ぎ、復興事業は、防潮堤以外はほぼ終了した。回復したという表現が合っているかどうかは別として、これ以上の回復？は望むべくもない。三陸道、釜石―花巻、宮古―盛岡の道路が良くなった。震災前には(望んでも)考えられなかった、アクセスの良さを得たと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	町の災害宅地造成地(織笠団地)空地に現在3件新築中、被災者なのかどうかかわからない。織笠地区の人ではないようです。織笠地区被災者の住宅再建はすべて終わっています。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	嵩上げた中心部には災害公営住宅がそびえたち、土地所有者は大概が平屋を建て、手付かずの土地は草が伸び放題です。端から端まで見通せる位しか再建も疎らで夜はとても寂しいとの話でした。今は再建する人も無く、動きは留まった様です。多くの町民は落ち付き場所を見つけ、普通の暮らしを取り戻した和やかな雰囲気が伝わって来ます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	予想通り、被災者の生活は回復しました。ただし、震災直後より懸念されていた災害公営住宅の問題がでてきている。家賃を民間と同じレベルにするのは当然のことで、入居前に説明も受けている。しかし、若い人たちは目先に囚われて入居してしまい、家賃が高騰したと勘違いして出て行く。よって、災害公営住宅における高齢者の比率が高くなり、一人暮らしや老々介護がこれからも増えていく可能性が高く、自治会活動等が困難になると思われる。そこで、公営住宅の空き部屋を、就職する新卒者に2年間の期間限定で家賃は月1万円、就労と自治会活動の参加を必須とする。(2年間貯金をすれば民間のアパート等を借りれる)などという施策が望まれる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	普段通りの生活にもどったみたい。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	住宅再建が終り、生活ももとに戻ったと思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	被災者の生活は回復したが、コロナウイルスの影響で水産物が売れない。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	よくなった。

区分	職業・所属	地域	年齢	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	津波等の被災に対しては進んでいるが、復旧工事はまだ終わっていない。コロナの関係で混乱しているので、生活の回復に対して悪くなったと感じている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村の復興住宅がすでに完成している。宇部町内の復興道路がもう少しで完成すると思われる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	周囲の被災者世帯の環境は、長男が帰省し同居し仕事も近隣企業等に就職、回復の手助けとなっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	震災ではようやく回復できたが、コロナで落ち着いた生活が出来ない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	3月に10年という節目を迎えて、なんとなくですが、被災したり、身内を亡くしたりした方々の気持ちに少し区切りのようなものを感じたときがあったからです。(2、3年前よりも、震災や亡くなったご家族のことなどをご自身からお話するようになりました。)
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災時、自分のいた地域の知人に限定すると、震災の影響は見られないように思います。それ以上に、少子・高齢化の方が問題に感じています。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	自分の周囲に、震災を理由に生活状況に困難をきたしている方がいないため。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設住宅の撤去もだいぶ進み、それぞれの生活は回復しているように感じる。盛土後の空地が目立ち、さみしい気持ちもある。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	岩泉町でいえば、新しい住宅地が整備され、住環境は回復していると感じる。一方、直近6カ月に関しては、大きな変化は見られない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仮設住宅も見られなくなり、見る限りでは回復したように見える。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	被災して10年、生活は回復していると思います。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	・自宅の再建や災害住宅への入居により、住まいは落ち着いた。 ・地域での高齢者のサロン活動等も、活発に行われるようになった。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	職場内において、被災した職員のみならず、住宅再建等はほぼ完了しており、通常の生活が送れている様に見える。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	安定してきている人は多いが、取り残されている人がいる感じがする。医療費の免除がなくなると医者にはかからないようにしなくてはという人もいて、免除に慣れてしまったのか、免除しなくてはならない生活状況なのか、聞いてみる場面も必要ではと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	被災者の住宅再建は終わり、地域では次のフェーズの生活に関する課題が出てきていると感じられる。安心な生活を送るためのソフト事業(地域コミュニティ再生等)が今後ますます重要になってくる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住まいや道路、街づくりに関して(釜石のみ)は回復し、仮設住宅も無くなった事で一定の成果が出ていてと散見される。しかし最も重要な心のケア(被災者の)については完全な回復には至っておらず継続した支援が必要だと思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	もう回復したと思っています。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	10年の節目を迎え、一区切りついたと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ライフライン設備は整備されているが、人々の生活の豊かさ、ゆとりに関する施設の再建は、あまり進んでいない現状です。被災前と比較すると、まだまだ回復途上であると感じます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興住宅は全てが完成し、また、住宅を再建する人など被災者の住環境は回復したように感じる。但し、高齢化が進む復興住宅におけるコミュニティの形成や家賃の問題などの課題があげられる。復興工事の大部分が終了し、今後、建設業の雇用面での不安がある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	住宅の再建も大部分終わり、少し落ちついた様に見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅再建もほぼ完了し、生活環境はやや回復したと思われませんが、震災前と比べて地域内の個々のつながりがなく、今後は地域内のコミュニティの構築が必要と思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	自宅は再建できても、住宅ローンの二重支払いがある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	皆さん、落ち着くところに落ち着いたと思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業については、震災前より収入が減少している。アワビ・ウニ・サケ・イカ等すべてが不漁になり、また、コロナの影響で価格が下がり、大幅な収入減となっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	みんな、普通に生活している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	数は多くないが、かさ上げた所に自宅の再建した方がいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	6カ月での変化は実感しませんが、この10年での復興はハード・ソフト面でも進んでいると思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	・住宅などについては、再建されていると思う。 ・道路等については、県北はおくれている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災者から震災の話より、コロナ禍の話のほうを聞くようになった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤等の整備・高田松原海岸の海びらきなど、生活は少しずつ回復できていると思う。10年という長い年月の中で多くの人の努力が回復へと向かわせたのだとも…。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防波堤等の建設が急ピッチで進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅等はほぼ回復しているように思われる。かつてのコミュニティは、もう戻ることはないと感じることが多い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	仕事について、生活について、気持ちの面においても、前に進もうとしていると感じとれるから。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナの関係もあり一概には言えないが、少しずつ回復はしているのでしよう。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	住宅環境は落ち付いている。個別住宅も増えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅が完全になくなった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	仮設住宅がなくなり回復したように思う。ただ、進捗状況は新築の戸建ての現場が少なくなり鈍化していると感じる。または、これで再建は終わりなのかと虫喰い状態の土地の町を見て、今後が不安になる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅の撤去がほぼ終り、新しい土地で生活されている事をあらためて実感します。震災前と後では各家庭での収入によってちがうと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	当地方は東日本大震災での被災は限定的であり、被災した方々の日常生活回復度についていえばやや回復したかに思える。ただし、この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響は大きく、雇用の喪失や生活の回復についていえば、いずれが原因となって時間を要しているのか判別が難しく、前回は不明とした。震災から10年を経過し、あつてはならないことと思うが住民の記憶は薄らいできている感じがする。

区分	職業・所属	地域	年齢	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	震災からの復興は順調と思えるが、コロナ感染症の影響で安心した生活かと問われると答えられない。町内でもエール券の発行等ありがたいと思うが、基本的に他県からの往来を控えている現状で、経済を回すことは小さな町に取っては難しいのだろうと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設の生活からは抜け出せているが、コミュニティには課題があると思うから。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅に住んでいる方はいなくなり、それぞれ住宅、公営住宅へ移った。ただ、公営住宅に移った方で、まだ住宅の再建をできていない方がいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	全体的に家も建ち、道路も完成しているので感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災者の生活は、ほとんど回復していると思う。ここ6ヶ月はコロナ禍で水産物の価格も低迷しており、生活は良くなっていない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前に近い状況にはなりつつも、同等といえるには及ばない環境と思われる。最近(6ヶ月)の生活については、殆んど変わりが無いように見受けられる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・空き地がなかなか埋まらない状況があり、浸水地域の復興が遅れている。 ・高台には新しい住宅の建設が進んでいる地域もあり、再建もみられる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から10年たっても、住宅は建たないし、空き地がいっぱいある。売地・借地が多い。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	東日本大震災からの回復と考えると回復したと考えられるが、新型コロナウイルスの感染対策として「人と会わない」、「出かけない」状態が1年以上続き、コミュニティ面で大きな影響を受けていると感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	コロナ禍で状況がわからないが、コロナの影響で仕事が無くなり、生活が一変した人がいるのではないかとと思われる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	コロナの関係ですべてに地域経済むずかしいようです。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナ禍にあつて、生活が苦しくなった家庭が少なくないようだ。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナの影響もあり、よくわかりません。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	身近で被災された方がいますが、落ち着いた生活を取り戻し、以前の生活を回復していますが、時々、仮設の方で立ち退きの問題が報道がされましたが、表に見えない部分で引っかかるが増えてきて分かりません。被災された方が、経済面、健康面が保障、安定しなければ、回復とは言えないと思います。被災していない私たちが答えていいのか分かりません。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	実家は、早いうちに高台に移動し生活をしている。 仮設もだいぶ撤去されたと聞いた。そのため、6ヶ月間で考えると変化はないのではないと思う。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属	地域	年齢	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	建設業を中心とし震災特需により、経済的回復を果たしたが、その後の展望に欠けている。水産業では、記録的な不漁のなか、コロナ禍により消費低迷により、業態の悪化に歯止めがかからない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	全体的には回復したと思います。ただ、養殖漁業者の中でホタテ・ホヤ業者が貝の死滅や貝毒が続いて資金繰りに困っているという話を聞きます。地球温暖化の影響と思われますが、資金援助が必要と思われます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・水産商工業施設の復旧復興工事が進み、外観的には復旧復興がなされている。 ・3.11東日本大震災での海況変化か、地球規模の温暖化現象か、親潮系魚類の(サケマス・スルメイカ等)漁獲量が激減している。漁船漁業・定置網漁業が不振となっている。かといって黒潮系魚種が増えてはきたが、大漁するほどではない。浅海漁業では、磯焼けによる餌不足でウニの身入りが悪く不況となっている。浅海養殖業は、ホタテ・カキ・ホヤは一応順調のようである。 ・商店街にあっては、コロナ禍で飲食業が打撃を受けているが、これに伴い他産業にも影響を及ぼしている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	漁業者は被災後、船をあつらえるのが容易な事ではなく、漁師を諦めた方も今は漁も芳しくなく、早く切り上げて良かったと話す。一方で、やはり今でも海へ足が向くと言って毎日の様に岸壁に向いているとの話に何とも淋しい感じを受けました。それなりに町全体が生活に目処をつけ落ち付いた様子に見て取れます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	沿岸部では水産業が地域の牽引力となっている。例えば、ホヤの出荷では韓国が放射能を恐れて輸入規制をしており、出荷に対して補償金が支払われ潤っている。福島第一原発の処理水をめぐって、知事は反対のようだが、処理水を海洋放出して漁業者の利益確保に努めていただきたい。IAEAも認める安全性が確保されており、風評被害以外に危惧される要件が無いのならば、一刻も早く海洋放出をしていただきたい。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	コロナウイルスの影響で落ちこんできている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	よくなったが、コロナの影響で魚が安い。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	地域の経済は一部をのぞき回復しているように思うけど、コロナで後退したように思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	宇部川地区基盤整備事業が昨年で完成し、登記も完了し、今年度からは作付も順調に進んでいます。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	農業は水田等の基盤整備がほぼ完備、圃場の企画整備、農業機械の導入の支援により、従来(震災前)より生産性は高まり、農産物の販売額も安定し、生活面・地域経済の回復はすすんでいる。水産も沿岸小磯漁(アワビ・ウニ等)を主体に以前同様の経済の回復をさせてきている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	それぞれの業種で再開できる方々は回復しているように思う。それぞれの理由があって消えてしまったお店もあり、残念である。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災復興の面では、回復していると思います。しかし、コロナウイルス関連も含めると、経済状況は、特に飲食業関係の方からは厳しいお話を聞く。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	震災後、新しく生まれた事業がなくなってしまったり、変化を感じるが、コロナの影響もあるかと思うので、回復度が測れない気がする。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	震災からの回復については一定レベルでなされたと思われるが、コロナ等の別課題の影響により、経済が低迷している感が否めない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	回復したと思います。次は生産量を増やす支援をしてほしい。機械化等に向けて。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	震災からは回復したが、その他(コロナや気候変動など)の理由により地域経済は芳しくないと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	進んでいるとは思いますが、被災とは別の問題で停滞していると思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナの影響により、設備投資が止まっているように感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・中心市街地への店舗・事業所の再建は着実に進んでいる。 ・観光施設もオープンしており、交流人口拡大に向けた準備は整いつつある。アフターコロナに向け、各事業者が前進していると感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	不漁(サケ、サンマ等…)の影響が大きいと思う。水産加工業では、仕入単価が高騰し、経営に打撃である。しかし、一部、巣籠り商品をメインにしている業者は盛況である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	経済は、人口流出などで、100%とは言えない気がする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後復興を望んでいる方々は復興し、生業を再開している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済に関しては、まだまだ回復する見込みがあると思う。私が住んでいる今泉地区は、スーパーはおろかコンビニもない状況なので、まだ発展する可能性があるのかと思っているが、わからない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	エール券など発行され、多くの人達が利用し、スーパーなどは混雑が見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災前に比べて、ある程度、回復したと思う。早くコロナが収まり、道路交通もよくなったので、水産物の流通拡大、町内の飲食業も活気づいてほしい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農業・水産業とも生産体制の構築・基盤整備も整っているが、まだ金銭面的にはプラスにはなっていないと思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業は不漁等で地域の経済に影響があると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	人口減もあり、もとは戻り切れない感じがします。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	あまちゃんや琥珀等の効果があったように思う。しかし、台風の水害、コロナなどがあり、復興の目標(どこまで)が見えない。(わからない)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災については回復しているのではないかと思います。問題はそれ以外のように入ります。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	震災というよりも、コロナの影響をかなり受けていると感じるので、この問いに関しては何も言えないため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	陸前高田市の市街地にあちこち新しいお店や会社が開店している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・被災からの回復は確実に図られてきたと思うが、コロナウイルス感染症拡大(防止対策)に伴い、経済への打撃は否めないと感じるから。 ・陸前高田の魅力を発信しようという方々の頑張りは、地域経済の起爆剤になっているとも感じる。

区分	職業・所属	地域	年齢	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	「震災からの復興」という点では、回復したものと感じる。しかし、若者の流出、人口減少など、地域の課題は多く、地域経済は、まだまだ活性化に向けて取り組んで行かなければならないと感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	農業、水産業については、消費者の立場から見ると、店に並ぶ食材の変化から回復を年々感じ取ることができています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	水産業が元気でないと、活気が無いように感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	・宮古一盛岡間の道路が整備されたことで、今後、様々な点でプラスになることが考えられる。 ・医療費や介護サービス利用料の免除が終了した方が多く、支払いが大変になり、介護サービスの利用を減らした方もいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	新規店舗や大型ショッピングセンターに人出を感じることはあるが、廃業者もいる。(補助金により事業展開をして、頑張っているところもあるようだ。)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農林漁業は、被災前に近い状況に戻っているように思うが、小売・サービス業の中には、厳しい経営を強いられている方も見受けられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	農業や漁業従事者が激減していると感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水産業に関しては設備などは震災前以上となっている半面、水揚げ量の減少などを勘案すれば、経済の回復度は回復したとは言えない。一方で、製造業や建設業など一部では盛況であるが、それ以外の業種との格差が大きくなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災による損害への手当として借入金が増加した事業者は多く、その大半が正常化したとは言いがたい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	事業者数は年々減少しており、震災を契機に廃業を決断した先もある。人口減少局面において震災後10年を区切りとして廃業を模索している方々も相当数存在している。地域経済の回復は事業承継支援とセットで進めなければ「絵に描いた餅」となります。2040年に岩手県の人口が100万人を割り込むという統計調査が発表されています。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	震災、台風被害からのハード面での復旧はなされている。一方でコロナ禍の状況もあり、観光客の減少、消費の低迷等を要因とし、取り巻く環境は厳しさを増している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	回復しつつあったところに、コロナ禍が災いしているから。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	鉾ヶ崎元氣市がひらかれ(第6回)、いろんなテナントが出て、ステージイベントがあり、経済もいっくら回復すればよいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後に進出した大型店は、市民生活のショッピングに大きな利便性をもたらし、利益もあるものと思われれます。又、それに拍車をかけるべく道路も整備され、有効である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域内の漁業従事者が減少し、浜に活気がなく、漁業の町の将来が心配されます。又、コロナ禍の影響で経済の動向はわからない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	行政は、できることはやっていると思う。回復度は、「回復した」と「どちらとも言えない」とどっちでも当てはまる。あとは、そこに住んで、生活している自分達次第と思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	今現在は、コロナの影響が大き過ぎて、全てにおいて大変な状況だと思います。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	だいぶ回復したと思うが、コロナの影響の方が大きいと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災なのかコロナなのか、景気がいまいち、落ち込んでいる様に思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	漁業の不漁。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	震災学習・観光など、被災地で取り組んでいた活動が、新型コロナの影響で出来なくなり、地域経済にダメージである。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナの影響が町が静かだ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	被災後に回復傾向だったが、コロナにより不振な産業が多くあると感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	ここ2・3年の水産業は、不漁続きで厳しいと聞く。それに輪をかけて、コロナ禍…自然の力には太刀打ちできません。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナの影響で飲食店のダメージが感じられる。三陸道路も整備されつつあるが、観光客が見られない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅が無くなり、新しい住宅も新築件数も少なくなったので、建設業関係の仕事が少なくなったのでは？
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	観光業はコロナの影響を受けていると思う。基盤整備、金融面の支援で市内の整備は大分整備されていると思うが、地域経済はあまり回復できていないように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	・現状は震災復興よりもコロナ対策に力を入れるべきだと思う。 ・市内では頻度は減ったものの、できるだけ買い物や外食をするように心がけてはいるが、他市町村へはなるべく出ないようにしている。 ・出歩かなくなった分、進み具合を感じることもなく、わからない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナが重なり地域経済はあまり元気がない。魚の漁獲量が減少し漁業関係者は大変だと思います。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路関連事業の振興によって地域経済は以前に比較すれば回復した感が強い。元々地域に経済力の乏しい沿岸県北地域では、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止の影響は大きい。回復には地域の経済力からして時間がかかるものと思う。外出自粛に伴い地域内での購買力が増加するものと思われたが、その影響はほとんどないに等しい気がする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	コロナの影響で、つぶれた所も聞いたので、あまり経済の変化はわからない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	復興が進むにつれて、建設業も仕事が薄くなってきた。コロナの影響も大きく、経済は厳しくなってきた。市内の飲食店では、店を閉めるところもでてきた。
やや回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大槌町に関しては、震災前より経済規模が縮小している印象が強い。また、地域の有力企業が内陸部に活動拠点(含む本社移転)を移しており、このような点も全体的な回復が感じられない要因の一つと考えられる。
やや回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業においては、サンマやサケの漁獲量の激減、沿岸漁業のアワビやウニの不漁が続いており、漁業関係者並びに関連する企業に経済的な面で大きな影響を与えている。ただし、新しい事業として、サーモン・マス等の海面養殖を行っている沿岸市町村もあり、漁業に明るい兆しが見える。
やや回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後10年が経過したが、災害復旧・復興に関係する需要が殆どなくなり、地域人口の大幅な減少や基幹産業である水産業の停滞が影響を及ぼすと共に、先行きの見通しがたないコロナウイルス感染症の状況が暗い影を落とし、地域経済の回復は進んでいない。
やや回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	復旧工事の完了とともに、作業員の撤収により商店の売り上げが減少している。仮設店舗の経営者も高齢のために閉店する人も出てしまった。
やや回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	建設関係の仕事がなくなり生活に困っている人が多い。

区分	職業・所属	地域	年齢	性別	自由記載(理由)
やや回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	コロナ等が原因による経済の不活性化を感じる。それでも地域の人々は頑張っていると思うが、成果はあまり感じられないから。
やや回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災というより、コロナの影響で、飲食店(特に夜間営業)がダメージを受けている様に感じます。
やや回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナ禍と重なり、町民の消費意欲が減退している。
やや回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	特に水産業について、秋サケ漁の不振等、漁業の復興が進んでいないと感じる。再生は十分ではない。直近6か月間については、支援をいただいていることについては十分感じているが、それよりも、コロナ禍による需要の落ち込みが大きい。支援がないと、今後、経済的にも大きな打撃を受ける。早急な対応が必要である。
やや回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	最近では震災の影響よりもコロナの影響の方が経済には大きいように思う。
やや回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	コロナの影響でイベントが全くできない状況があるので、回復のスピードも遅い。
やや回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	新型コロナウイルス感染拡大により、人口減少の沿岸部にはより一層、地域経済のダメージが深刻になっていると感じている。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災の為でなく、コロナの為、経済が全業種で落ちこんでいる。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナの影響が大きいようだ。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	現在の景気停滞がコロナによるものなのか、震災の影響によるものなのか、判断がつかないから。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	新型コロナの影響なのか、どちらなのか判断がつかない。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	うちの地区の経済回復には「水産資源の回復」が絶対条件となり、そこが良くなっていかないと、経済は更に悪化すると思います。金融・制度支援もすでに受けていたりして、手段を使い果たして追い詰められている事業者もいるようなので、更なる支援策をなるべく早く講じて頂きたいと思っています。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲を見ることができない。(コロナ、仕事の忙しさ)
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災というより、新型コロナによって、経済は低迷していると思います。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防災に対するインフラは整備されたと感じている。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	沿岸の堤防や避難所の整備が進んでおり、まちづくりは進んでいる。三陸道の整備により、広域での医療体制の拡充が図られている。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	防災意識が高まっていると感じる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	町の中でも、避難道路など整備されたりして、人々の気持ちも災害に対しての向き合う気持ち、強くなっていると思う。特に行政のトップの方々はそのまちづくりを真剣に取り組まれている姿勢が、目に見える。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ほぼ9割以上が復興され、希望者が生業の活動に移行されている。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害に関しては、今回、特にコメントはないです。大部進んだと思っています。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・陸前高田市気仙町今泉地は完成です。 ・気仙川の今泉大橋取付道路が一部はまだ。年内と思います。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤が完成しハード面は達成。あとはソフト面の充実を図ることが課題。地域の防災組織が機能するよう努力したい。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・防潮堤の整備はおおむね予定通り完了したと思われる。 ・工事関係者数が目に見えて減った。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	高い高い防波堤が今盛んに工事が進められ、海の無い町に…堀の中の町に…でも安全な町づくりには大事な事です。二度と十年前の様な悲惨な事が起こらない様にと願っております。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	住民の意見より、コンサルタントの意見を重視したあまり、避難路が川に向ってから、低い土地に向ってからしか高台に行けない、素晴らしいまちづくりが完成した。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路の開通が進んでいる。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	よくなった。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村の防潮堤や宇部町久喜浜地区の防潮堤も完成しています。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	防潮堤の整備が進み、復興道路も進んでいる。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤に農業地域(農林水産省)のものと環境省のものでは作り方に違いがあるのに驚いた。農業地域のものには手摺りが少なく、安全性に問題があると思う。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	ハード的な整備はほぼ完成したので。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤工事が進んでいるのでもう少しで完成します。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面では、充分進んでいると感じます。ソフト面では、津波により家族等を亡くされた方々は、今後も支援が必要な状況はあると思います。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	時間の経過とともに市民に慣れが生じていることに不安を感じる。震災以降に生まれた子どもたちへの防災教育は学校での教えを中心に充実している様子。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤が着々と出来上がってきました。私は消防団員なのですが、先日、河川水門の運用説明会に行ってきました。「操作盤の扉を開けただけで、各関連機関に異常通報が入るようになってます」とのこと、しっかり遠隔管理されてるんだと実感してきました。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事(織笠地区の水門、山田地区の防潮堤)が進んでいる。あと少しで全部完成すると思います。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤の完成で高潮・津波対策は万全だ。三陸自動車道は開通の時期がずれてちょっと遅れているが順調に進んでいるようだ。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	道路整備が進んでいる。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	三陸沿岸道路が着々と整備されていることや、防潮堤が完成していることから。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防波堤等の建設が急ピッチで進んでいる。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤の整備が完成となっていない。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	もう少しで復興道路も完成する。そうすると安心です。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤等の整備は進んでいる一方で、海が見えない不安を口にする方もいる。本県以外の沿岸部(震災後)へ勤務した経験があるが、同じような不安を持っている方が多かった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤等のインフラの整備。住宅の高台移転、防災に対する意識の浸透。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	6カ月間で何かが完成した、という具体的なものがないから。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・まちづくりの進展、観光施設の完成と並行し、避難経路図の掲示、避難訓練も実施されており、着実に進んでいる。 ・三陸道の延進は方策の充実に加え、産業・観光面へのプラスが大きい。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	嵩上げや港湾整備等により、災害に強いまちづくりに向けた一定の整備は完了したものと思考する。一方で、東日本大震災では想定を大きく超える津波被害が発生しており、このような点を考慮すると完全な状況とは言い難いものと感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・小本港では2,000トン岸壁が既に供用されるなど整備は完了しているが、台風被害による河川工事はあと2～3年要するものと思われる。 ・町民全域に自主防災組織が結成され、各地区で防災訓練を実施するなど町民レベルで防災意識が高まってきている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後10年が経過し、沿岸部の防潮堤工事は一部の地域を除き、ほとんどの部分が完成し、避難道路等も整備され、ハード面では整いつつある。それに伴い、住民の避難に対する意識が風化してきているように感じる。防潮堤は津波を完全に防ぐものではなく、津波の到達を遅らせ避難時間を稼ぐことを再認識する必要がある。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後に新たな高台を走る中間道が、一部通れるまでになったので。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	おおむね達成したと思いますが、なかなか終わらない感じもします。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水門工事が進行中だが、工事が遅れているのが心配だ。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	土砂災害が発生した場合、危険な場所も見られる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	まず、何と言っても、防潮堤の整備が完成、完遂したことは大きい。しかし、有事の際は避難時間をかせぐ為のものとして心得、絶対に浸水しない等と安心してはならない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生命を守る防波堤工事は、大沢漁港から山田湾奥関川河口付近の山田漁港地区防波堤関連工事が年度内完成を目指して頑張っているようである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤・水門の工事は終了に近づいており、津波対策は完了前と思われますが、今後は大雨に対しても、安全なまちづくりのため河川敷の整備も検討して欲しい。

区分	職業・所属	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はほとんど完成したと思う。市・町・村単位での防災訓練等で安全なまちづくりを目指すようにしてはどうか。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	水門、高台のかさ上げなど、順調に進んでいると思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤がなにを守るのかわからないほど、地域がさびれはじめている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤に対して、まだ工事中の所があるのと、完成した所が開放され供用されてくる場所での避難訓練等をして、安全の確認をする必要があると思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	よく分かりません。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ハード面はできていると思うので、(震災の記憶を)忘れないためにも、行政面、教育面、そして民間等の活動において、防災意識を高めていく活動を継続していく必要がある。うのすまいトモスや釜石鶴住居復興スタジオ等でのイベントを支援したい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	やっどですが、防潮堤の完成が間近となりました。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	整備は進んでいます。沿岸道も開通に向けて急ピッチで工事が行われています。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路ができた反面、すぐに土砂崩れが生じ基本的なことがちゃんとできているのか不安になります。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	震災の被害が少なかった沿岸北部は、被害の大きかった地域に比べスピード感が足りないと感じているため。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	着々と市街地の整備が進められている。高田松原の海開きに向けても駐車場等の整備が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ハード面では”安全”なまちづくりは達成されつつあると思う。そこに暮らす私たちが”安心”するための取り組みを進めていかなければならないのではないかとこの地に住む一人の大人として防災意識を子供たちとと考えていきたい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤は完成に近づいている様子。しかし、今年も海開きができず3年目。地域の子どもたちは、早い開催を待ち望んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事等はかなり進んでいると思われるが、最近の変化はあまり感じられない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事がほぼ完成し、水門工事も進んでいるから。盛土や防潮堤が、大雨による、水害に関係している所があり、対策が必要だと思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤や復興道路など、工事が着々と進んでいる。防潮堤については、同じ規模の震災が発生すると、防ぎきれぬだろうかと不安に思う。しかし、海の見える風景が失われていくことは残念でもある。復興道路はとてめえがたく感じています。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	確実に進んでいるのだろうが、正直なところ、震災直後は復興に10年以上費やすとは思ってしなかった。広範囲ということもあり、阪神淡路の復興期間との比較はナンセンスなのかもしれないが、遅いと感じるのは私だけでしょうか？
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	橋の補強や避難施設も出来た。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	大分整備され、達成できていると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	・ハード面は達成できたと思う。 ・直近では震度5の地震があった時に車を運転していたが、停まらない限り地震に気付かなかった。アラートは鳴ったが、そんなに強くは感じずにいた。 ・震災時も、車での避難で多くの方が亡くなったので、地震時の車の流れ等を把握して、渋滞等がなくなればよいと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・防潮堤工事や三陸道の開通など、被災前より災害に強くなったと思います。 ・浸水地域の活用が今後の課題だと思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	・防潮堤や道路は整備されてきている。 ・防災訓練の参加者は年々少なくなっており、住民の意識が薄れてきている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤、道路の整備が進んだ。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	防潮堤は、進んでいるように見える。復興道路が少しずつ開通していて、災害時でも役に立つと思うから。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	施設等はできてきていて、道路もできたが、だんだん心の中の防災意識が薄れてきている気がするので、定期的に防災意識を高める機会が必要だと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤等のハード面の整備は完了している。台風被害の内水面の災害対策や避難訓練等のソフト面の充実が必要だと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	村で計画したハード面の対策は全て整備され、その点では達成していると思う。ただ、三陸沿岸道路の工事が今もなお行なわれており、早い完成が待たれるところです。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	まず、防潮堤の進捗度が思い浮かぶので、未完成だが少しずつ(ペース落ちた)進んでいるということ。あとは、そこの人達が(震災の経験を)伝えてゆけるか？忘れないか？、ハード的には、震災前より確実に安全な環境になっている。途上にある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	津波防災対策として建設されてきた河口水門や陸の遠隔操作式門扉は出来上がり、残すは防浪堤の乗り越し道路と漁港の人工地盤になっている。一方、一昨年の台風19号による災害対策の抜本的な施策は示されておらず、安全・安心からはほど遠いのが実情である。また、自然災害全般に対する避難行動の啓発や訓練及び自主防災組織の設立の促進が課題として横たわる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤がまだ完成していない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	津波に対する防災は十分であるが、一方で堤防建設により、台風災害等に対応できない。(水が溜まる、排水できない等＝災害に弱い)岩泉町の場合は、津波災害以外に、土砂災害・洪水災害に対する対応が必要。現在、河川改修が進んでいるが、土砂の流出等により、漁業に影響が出ないか不安がある。東日本大震災と台風災害に対応した防災・治水対策が必要と感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	ハード面での復興はどんどん進んでいると思う。復興道路も今年中には完成するとのこと。どんどん進んでいる。一方、それに伴い、地域の森林伐採が進み、自然環境の変化が気になる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の進捗状況について私に分かる情報がありません。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災から10年を経過し、あの東日本大震災は住民の間ではすでに過去のものとなっている感じがして不安になる。被災した方にとっては10年も昨日も変わらない日常だと思うが直接関係のない住民にとっては10年一昔の感じかと思う。また、コロナウイルスの感染によって、住民の生活も従来考えられる生活様式とは様変わりしてきた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	堤防の整備が続いているが、あまり変わったように見えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	防潮堤は整備されたが、避難方策の充実については村民に周知されていない。

区分	職業・所属	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備は80%くらいできたのではないと思うが、防潮堤ができたから、安全なまちとは言えないと思う。この6カ月の間で大きな地震が何度かおきたが、やはり防災意識を高めることが一番大事だと思う。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事が、未だ完了しておらず、不安に感じます。今、同様の災害が発生したと想定するとどうしても身の危険を感じます。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	整備や工事がなされているかもしれないが、あまり実感がない。もっと広報を効果的にされてはどうか、と思う。災害にそなえるという点でも住民の意識は薄いと思う。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	個人的な感想になりますが、防潮堤が出来た事により視界が遮られ、避難がかえって遅れてしまうように思う。高台移転や市民の防災意識を変える事によって初めて災害に強い安全なまちづくりと言えるのではないか？
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地元水門が未完成、工期延長が続いている。宮古市の水門も同様であり、特に住民は行政に不信感を抱いている雰囲気がある。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	国・県工事は防潮堤工事は道半ばです。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	日本海溝・千島海溝沿い地震で想定される津波高を考えると、現状がどこまで安全か、判断がつかない。
無回答	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はほぼ完成し、住居も海から離れた場所に再建しており、ハード面はOK！しかし、今後、経験したことのない災害(台風・地震等)がいつ来るかと思うと不安は続くことになる。

令和3年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

令和3年8月30日

岩手県復興防災部復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話 019-629-6935

【自由記載集：掲載にあたって】

・自由記載（理由）は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。

（一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。）